

糖尿病内科コース

◇ 研修計画

1) 糖尿病専門医の資格獲得を目指した研修が、なぜ必要か？

2013年3月現在、高松市内には当院の他は、2つしか糖尿病学会認定教育施設がありません。そのため出身大学や入局医局にかかわらず、香川県内の糖尿病医療のレベルアップのために糖尿病専門医育成を行う必要があります。

当院では、年間100名の教育入院と、600名の外来患者、年間450名の往診患者がいます。数多くの症例を診ることで、高松市内で充実した糖尿病研修が可能です。

近年、インクレチン関連薬やSGLT2阻害薬の出現により、2型糖尿病の治療方法は非常に多彩になっています。また1型糖尿病については、インスリン・ポンプなどの先端医療の普及にも取り組んでいます。

2) 一般目標

糖尿病内科での2～3年間の研修を通じ、各病型の糖尿病病態・血管合併症を理解し、検査法・診断法・食事療法・運動療法・薬物治療・インスリン治療・患者指導技術・周術期の血糖管理を学ぶこと。研修医は糖尿病の病態を理解の上その診療に当たり、糖尿病の管理法全般を習得すること。

3) 方法

(1) 入院担当症例目標数

目標症例（年間50例）

1型糖尿病 2型糖尿病 その他の糖尿病 糖尿病妊娠
糖尿病ケトアシドーシス・糖尿病性昏睡 若年糖尿病
感染症を伴う糖尿病 腎症を伴う糖尿病 神経障害を伴う糖尿病
糖尿病性足病変を持つ糖尿病 大血管障害を持つ糖尿病 など

(2) 日本糖尿病学会の指定する以下の研修項目について研修期間内に指導を受け、学習する。

糖尿病の疾患概念・糖尿病の疫学・糖尿病の診断・糖尿病の分類と成因・治療総論・食事療法・運動療法・薬物療法・臨床検査の意義と評価法・糖尿病合併症・妊娠糖尿病・低血糖症・他の生活習慣病と糖尿病

(3) 患者指導・チーム医療

糖尿病患者を担当して糖尿病診療と糖尿病指導を行う。

糖尿病教室を担当し、糖尿病療養指導チームと共に糖尿病集団教育を行う。

★ 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	院内往診				
午後	病棟回診 病棟カンファレンス		糖尿病教室		
夕方				合同カンファレンス (月 1 回)	

★ 年間スケジュール (ただし、3年目は希望者のみ対象)

1年	<p>年間約 50 例の入院糖尿病患者を担当</p> <p>糖尿病教室を月に 1 回担当 (2~3 年間)</p> <p>急患センターで糖尿病の救急を学ぶ (2~3 年間)</p> <p>担当患者のうち興味ある症例を研究会・糖尿病学会地方会で症例発表する</p>
2年	<p>年間約 50 例の入院糖尿病患者を担当</p> <p>主治医としてジュニア・レジデントを指導する</p> <p>週 1 回外来担当: 慢性期の糖尿病管理法を学ぶ</p> <p>担当患者のうち興味ある症例を研究会・糖尿病学会地方会で症例発表する</p>
3年	<p>年間 50 例の入院糖尿病患者を担当</p> <p>主治医としてジュニア・レジデントを指導する</p> <p>週 1 回の外来担当</p> <p>学会発表、論文作成などを旨す</p>

4. その他

★日本糖尿病学会糖尿病専門医受験申請資格について

1. 糖尿病学会認定教育施設で臨床研修を3年間行うこと
2. 筆頭者としての学会発表または論文が2編以上あること
3. 入院糖尿病症例40例以上の治療経験を有すること
4. 日本内科学会認定内科医資格を有すること

このためには研修開始と同時に日本内科学会および日本糖尿病学会への入会が必要です。研修開始時に日本糖尿病学会には研修開始届けを行います。

なお、前期研修（ジュニア）2年と後期研修（シニア）3年、計5年間の研修期間のうち、ジュニア2年とシニア1年の研修計3年は日本内科学会認定内科医申請資格に必要な年限のため、糖尿病専門医受験資格獲得のためには日本糖尿病学会認定教育施設であと1年の糖尿病研修が必要となります。ご要望があれば、シニア研修に引き続く1年間の延長を病院上層部に交渉いたします。

★院内の他科への短期研修も必要に応じ対応いたします。（腎臓内科での透析研修、消化器内科での内視鏡研修など）

★女性レジデント医師についても基本的に同様の研修を行いますが、本人の申し出により研修内容には柔軟な対応を検討いたします。